

各 位

上場会社名	株式会社IDOM
代表者	代表取締役社長 羽鳥 由宇介
(コード番号)	7599)
問合せ先責任者	経理・財務・IRセクションリーダー 松本 雅之
(TEL)	03-5208-5503)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月14日に公表した2021年2月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	360,000	8,700	7,000	4,500	44.82
今回修正予想(B)	361,700	10,100	8,900	5,500	54.73
増減額(B-A)	1,700	1,400	1,900	1,000	
増減率(%)	0.5	16.1	27.1	22.2	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	361,684	9,091	6,867	3,545	34.97

2021年2月期通期個別業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	263,300	6,000	4,200	41.83
今回修正予想(B)	265,000	6,700	4,250	42.29
増減額(B-A)	1,700	700	50	
増減率(%)	0.6	11.7	1.2	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	258,008	6,964	3,500	34.51

修正の理由

2020年4月から5月に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い政府や地方自治体から外出自粛が要請されたことで、国内直営店の来店客数は一時減少しましたが、5月下旬の緊急事態宣言解除以降、急速に回復しておりました。このような状況にあつて、前回(10月14日)発表の予想においては、小売台数が前期比で増加し、一方で、新車市場の低迷は今しばらく続くことを前提として、買取台数が前期比で減少する想定としておりました。

これらの想定に対し第3四半期までの進捗は、小売台数は想定どおり、買取台数は想定を上回り増加している状況にあります。加えて、効率化による販管費及び一般管理費の削減も進んでおります。

第4四半期において、1月～2月の緊急事態宣言発令による影響は現時点では不確定ではありますが、第3四半期までの中古車市場動向を鑑みその影響は軽微であることを前提とし、第3四半期の来店客数と同様のトレンドを想定したうえで、連結及び個別の通期業績予想を修正いたします。

上記の想定は、あくまでも仮定したものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、1月～2月の緊急事態宣言発令に伴う消費動向の変化、直営店舗の営業状況などによっては変動する可能性があります。

以上